

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-194260

(P2004-194260A)

(43) 公開日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51) Int.Cl.⁷
H04N 1/00F I
H04N 1/00テーマコード (参考)
5C062

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2002-383069 (P2002-383069)
(22) 出願日 平成14年12月6日 (2002.12.6)(71) 出願人 302007390
西尾 正雄
岐阜県多治見市東栄町1-1-22
(71) 出願人 503029533
松井 啓至
岐阜県瑞浪市土岐町6691-2
(72) 発明者 西尾 正雄
岐阜県多治見市東栄町1-1-22
(72) 発明者 松井 啓至
岐阜県瑞浪市土岐町6691-2
Fターム(参考) 5C062 AA02 AA05 AB17 AB22 AB38
AB51 AC58 AE14 BA04

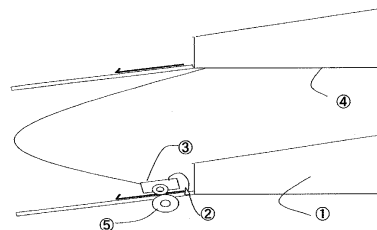
(54) 【発明の名称】 複数同時排出ファクシミリ

(57) 【要約】

【課題】受信したファクシミリを瞬時に複数の人に手渡す必要がある場合、(例：調剤薬局やレストランなど)時間の浪費となった。

【解決手段】印刷用紙検出スイッチと、スキャナーの併用によって課題を解決する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受信したファクシミリを、受信と同時に遠隔地にて複数コピーすることの出来る装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、従来のファクシミリに印刷用紙検出スイッチを施して、同時に遠隔地にて複数コピーすることのできるファクシミリ機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のファクシミリは、受信したファクシミリを同時に複数コピーすることができなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】受信したファクシミリを瞬時に遠隔地の複数人に手渡す必要がある場合、（例：調剤薬局やレストランなど）時間の浪費となった。

【0004】

【課題を解決するための手段】印刷用紙検出スイッチと、スキャナーの併用使用によって課題を解決する。

【0005】

【発明の実施の形態】▲1▼で受信したファクシミリを▲2▼の印刷用紙検出スイッチが自動的に受信を感知し、電源が自動的に入る。その後受信したファクシミリが▲3▼のスキャナーを通り、受信と同時に▲4▼から複数コピーを可能にする。

【0006】

【発明の効果】受信したファクシミリを改めてコピーする時間を省略する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 平面図

【符号の説明】▲1▼ファクシミリ A

▲2▼印刷用紙検出スイッチ

▲3▼ファクシミリ B のスキャナー

▲4▼ファクシミリ B

▲5▼給紙ローラー

【図 1】

